

# ウィーン・サロン・オーケストラ

Salonorchester Mit Wien New Years Concert

## ニューイヤーコンサート2023



華麗なバレエ優美な音楽と歓びの新年を祝う



©Dimo Dimov

ウド・ツヴェルファー

音楽芸術監督  
コンサートマスター

ルドルフ・ジーツィンスキー：

ウィーン、わが夢の街

ヨハン・シュトラウス2世：

皇帝円舞曲

オペレッタ「こうもり」より序曲

トリッチ・トラッチ・ポルカ

美しく青きドナウ

フランツ・レハール：「唇は語らずとも」

オペレッタ「メリー・ウイドウ」より ほか

※ 出演者・演奏曲・演奏順は予告なく変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

2023  
1.11 14時開演  
(13時15分開場)  
水

神奈川県立音楽堂

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-2 ☎045(263)2567

全席指定 単独券 6,000円 ペア券 9,800円

チケットかながわ 0570(015)415 (10~18時  
年末年始休業)  
kanagawa-arts.or.jp/tc

(県立音楽堂、県民ホール、KAAT神奈川芸術劇場各窓口含む)

チケットぴあ t.pia.jp [Pコード 226-948]

プロアルテムジケ 03(3943)6677

PRO ARTEKET teket.jp/98/16120

プロアルテケト 紙チケット不要! メールアドレスとクレジットカードま  
たはコンビニ決済でチケット購入可。ご購入後は  
メールで送られてきたQRコードでご入場ください。



発売日：9/28(水) 10時

共催：神奈川県立音楽堂

(指定管理者：公益財団法人神奈川芸術文化財団)

後援

オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京   
日横文化協会

主催・お問合せ プロアルテムジケ   
03(3943)6677  
www.proarte.jp



# かつてヨハン・シュトラウス2世が自ら演奏した 歴史的施設「ウィーン・クアサロン」が本拠地。 年間400回以上のコンサートを行いウィーンで抜群の人気を誇る オーケストラが3年ぶりに来日！ 壮麗、優美、華麗…これぞ本場といわしめる音楽とともに 晴れやかな新年をお迎えください。

## 正調ウィнна・ワルツ

日本でウィнна・ワルツといえば、毎年の元旦にオーストリアの首都ウィーンの楽友協会(ムジークフェライン)大ホールから国際衛星放送で生中継されるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(フィルハーモニカー)の「ニューイヤーコンサート」が有名だ。

しかし、ウィーン国立歌劇場管弦楽団を母体とするフィルハーモニカーはワルツやオペレッタの名曲の演奏団体としては“新参者”に当たる。ヨハン・シュトラウス父子が活躍した19世紀の半ば、彼らが次々と書き下ろしたワルツやポルカはダンスホールや酒場の音楽であり、当時の宮廷(現・国立)歌劇場の音楽家たちが好んで奏でることはなかった。

## KURSALON WIEN ウィーン・クアサロン



音楽ジャーナリスト@いけたく本舗(池田卓夫)

### ウド・ツヴェルファー

音楽芸術監督・コンサートマスター

ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学などで学び、1980年にフォルクスオーパー・ウィーンの第1コンサートマスターに就任。1994年にフォルクスオーパー・ウィーン所属の演奏家で構成された「ウィーン・サロン・オーケストラ」を設立した。

1999年には、かつてヨハン・シュトラウスII世が自ら演奏し、本拠地とした歴史的施設「ウィーン・クアサロン」と契約を交わし、同オーケストラの演奏活動を本格的にスタートさせた。ツヴェルファーは、その初代音楽芸術監督およびコンサートマスターとしてオーストリア国内外にて5000公演以上のコンサートを成功させている。

### ミレーナ・アルソフスカ(ソプラノ)

ウィーンを拠点に活動するマケドニアのソプラノ、ミレーナ・アルソフスカは若いときから「きらきらとした明るく澄んだ歌声」と評され、才能を

開花させた。ウィーン私立音楽芸術大学で修士号を得た後、イスタンブールのレイラ・ゲンチャー・コンクール入賞を契機に、アン・デア・ウィーン劇場と再契約するなど階段を駆け上がるように活躍の機会を得ていった。

2021/22年シーズンもベートーヴェン「フィデルリオ」マルツェリーネ役やシューベルト「アルフォンソとエストレラ」のエストレラ役、およびレオ・ファルとオスカー・シュトラウスのオペレッタを特集したコンサートでウィーン室内管弦楽団と共演した。

### ドミニク・ゼーンズ(テノール)

ドイツ、ボン出身のテノール歌手で演出家でもあるゼーンズは、ウィーン私立音楽芸術大学で独唱を学び、ボンおよびケルンの歌劇場のオペラで活躍し、国際的に知られるボン・ベートーヴェン・フェスティバルにも出演している。2012年と18年に開催された「ボン・ハーバー・コンサート」の主催者、歌手、ディレクターを務め、2012年には「純クラシック」賞受賞。2015年にはシュロス・ラインスベルク室内歌劇場コンクールに入賞したほか数々の受賞歴がある。

演出家としては、2016年には11歳のアル

マ・ドイッチャー作曲のオペラ「シンデレラ」がBBCで収録され、多くのメディアから注目を集めた。2021年にはキッツェのオペレッタ「ガラヤ」、「メリー・ウイドウ」を上演した。

ヨハン・シュトラウスII世(1825-1899)が1874年に初演したオペレッタの傑作《こうもり》の真価を認め、宮廷歌劇場音楽総監督のグスタフ・マーラー(1860-1911)がレパートリーに採用したのは97年。後継音楽総監督の一人、クレメンス・クラウス(1893-1954)がニューイヤーコンサートを創設したのは1939年と、20世紀の出来事だった。59年にオーストリア放送協会が国際中継を始め、レコード各社が毎年のライブ録音・録画を発売する体制が整って以来、フィルハーモニカーの売り物になった。本来はもっと小編成で歌や踊り、器楽のソロなどを「おせち料理」のようにとり混ぜ、ワイン片手の気軽な雰囲気の中で楽しむ音楽だった。ウィーン・サロン・オーケストラが奏でるのは、フィルハーモニカーとオーストリア放送協会による20世紀のマーケティングが蔓延する以前の、正調ウィнна・ワルツである。

マ・ドイッチャー作曲のオペラ「シンデレラ」がBBCで収録され、多くのメディアから注目を集めた。2021年にはキッツェのオペレッタ「ガラヤ」、「メリー・ウイドウ」を上演した。

### シルヴィア・ナイジェナー(バレエ)

2006年よりスロバキア国立劇場バレエ団のメンバーとして、2008年より副ソリストとして、2010年よりスロバキア国立劇場バレエ団のソリストとして活躍中。2004年には、最も優れた若手才能に贈られるバレエ・フラワー賞にノミネートされた。バレエ「眠れる森の美女」「ヴィヴァルディの四季」等のソロを演じ、いくつかの文学基金賞も受賞している。

### アンドレイ・サボ(バレエ)

2004年スロバキア国立劇場バレエ団に入団。2010年にソリストに昇格。2014年にはリーディング・ソリストとなる。2010年ブラティスラヴァ・バレエ団および2011年プラハの新国民劇場のメンバーとしても活躍した。2008年には「熊の皮をきた男」、2009年には「白鳥の湖」ロットバルトと「イワン雷帝」クルプスキーの芸術的解釈に対してプレミアムLITA賞を受賞している。